

事業名

学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども

目標

地域と連携して、学校園の環境を整え、地域交流を深める。

1. 取組の視点

地域コーディネーターやボランティアの積極的な活動によって、都跡中学校区の各学校園では、地域教育力が大きな支えとなっています。また、教育環境が整えられ、「地域の学校園」（都跡の住民が創っていく学校園）をめざし、成果も上げています。

2. 取組の概要

昨年度も、「学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども」というテーマで取り組み、校区の佐紀幼稚園・都跡幼稚園・都跡小学校・都跡中学校で、それぞれ協力しながらテーマの実現を図りました。緑あふれる美しい学校園にするため、「ゴーヤカーテン」や葉ボタンの栽培などさまざまな園芸活動をすすめ、その取組についてマスコミに取り上げられ、他校からも視察に来校するまでに至りました。



また、読書大好きな子どもたちを育てるために幼稚園や小学校では、ボランティアによる読み聞かせ活動



を行ったり、小学校と中学校では、図書への飾り付けを行い、図書環境も整いました。

また、「ふるさと大好き」の取組として、昨年度まで自治連合会主催で行われていた「都跡ふれあいまつり」に変わって、地域教育協議会が主催と



なり「第一回都跡ふれあいまつり」を10月29日（土）に開催しました。小学校の体育館で、地域のコーラスや中学校吹奏楽部、小学生マーチングバンドの合唱・演奏を中心に文化交流を行うとともに、地域の方々や園児児童生徒の作品展

示を行ったり、また、地域で決める学校予算事業の紹介も行いました。

また、1月には寮美千子先生による教育講演会を実施した。2月には、コーディネーターと地域ボランティアによる地域教育協議会交流会を開催し、研修や交流を図り、大好評でした。これらの取組を通して、地域と学校が一体となり活動を行うことができました。

3. 成果と課題

（成果）「第一回都跡ふれあいまつり」を通して、文化交流を図ることができました。また、地域コーディネーターやボランティアの協力によって、学校園は一段と美しくなり、学習する環境が整った。一方、ホームページ等を通じた広報活動が進み、より地域教育活動が浸透しました。

（課題）地域コーディネーターの高齢化が進む中、新たな地域コーディネーターの育成を図ることが必要です。また、地域ボランティアも同様に、活動内容をより一層地域にPRすることで、広くボランティア登録を行ってもらうことが必要です。

事業名

見つけよう地域の宝物 つながろう地域の人々

目標

地域の人々との交流を通して、地域の素晴らしさを見つける

1. 取組の視点

都跡中学校は、校区に平城宮跡、薬師寺、唐招提寺の3つの世界遺産があり、世界遺産とともに郷土を知り、郷土に誇りをもつ生徒を育てようと取り組んでいます。また、都跡小学校とは1小1中で、施設分離型の小中一貫教育のモデル校として小中一貫教育をすすめています。そのような中、地域の方々が学校のために積極的に地域コーディネーターとして、またボランティア活動として、参加していただいています。地域と学校が協働で取り組む活動をすすめていきたいです。

2. 取組の概要

これまでも、コーディネーターを中心としたボランティア活動の取組があげられます。樹木の剪定、芝生刈りや雑草の片付け、ゴーヤのグリーンカーテンづくり、パンジー・マリーゴールド・葉ボタン等の園芸美化作業、古い机・いすの廃棄など多岐にわたります。



中でも、夏休み中に行われる美化作業では、生徒、PTA、都跡おやじの会と一緒に学校内の清掃活動を行いました。特に中庭の樹木は見違えように美しくなり、参加した生徒たちもあまりの美しさに感動していました。



ペンキ塗りの作業では、地域ボランティアと生徒会有志で昇降口や階段、北館廊下の壁面にペンキを塗り、一緒に汗を流した。このようなボランティア活動に参加していただく方が年々増えており、地域と学校の協働がすすんでいます。

本校の吹奏楽部は「第一回都跡ふれあいまつり」で小学校マーチングバンドと一緒に合同演奏をしたり、幼稚園児を本校に招いてふれあいコンサートをを行いました。また、奈良東養護学校へ演奏に出向きました。



他にも、中学3年生が都跡、佐紀幼稚園の各園で2

回にわたって保育体験をしたり、生徒会有志が清掃活動やスポーツ交流を行いました。また、中学2年生が地域で職場体験学習を行ったり、中学1年生が「職業人に学ぶ」を実施しました。このように、積極的に地域に出向くことを行うことで、地域の人々との交流が深まるとともに、地域の人々の素晴らしさや地域の素晴らしさを発見することができました。

3. 成果と課題

(成果) 地域の方々とふれあうことで、生徒の中に自分も地域の一員であるという自覚が生まれています。また、学校評価では「ボランティアの協力を得て教育環境が良くなっている。」という質問に対して、生徒の75%、保護者の89%、教職員の100%が肯定的でした。

(課題) 地域ボランティアが気楽に参加できるような企画を計画検討し、推進していくことで一層の協働を図りたいです。また、生徒が校外に出向くことで、地域の宝物を発掘していきたいです。

事業名 みあと地域ふれあい事業

目標 地域の人・文化財・自然を教材に活用することにより、地域の人々との交流を深め、地域を愛する子どもを育てる。

1. 取組の視点

本校は、昨年度、創立 100 周年を迎えた伝統校で、校区には平城宮跡・唐招提寺・薬師寺といった世界遺産があり、歴史・自然環境に恵まれています。

このような環境の中で、本校では、「都跡を愛する心を育てる」ことを学校経営の重点目標の一つとしています。豊かな歴史と伝統を持つ地域の、人、こと、自然を学習活動に取り入れることにより、地域を愛し、地域を誇りに思う子どもを育てます。

具体的には、「生活科での地域の方々とのふれ合い学習」や「世界遺産学習」、小中一貫教育新設教科の「郷土『なら』科」等を通して計画的に取組を進めています。地域とのふれあいを通して、子ども達の心の育成を、そして同時に、地域の教育力の活性化をめざします。



2. 取組の概要

低学年では、地域の方の協力を得て、野菜の栽培・収穫をしたり、昔遊びを教えていただいたりしています。また、平城宮跡でたこ上げや虫とりをして世界遺産に触れる機会を持ちます。

中学年では、「ふれあい集会」と称して地域の方々と触れ合いながら昔の暮らし体験をします。子どもは、おじいちゃんやおばあちゃんの優しさから人に対する心遣いを学んでいます。お年寄りも昔の暮らしについて教えながら、子ども達と楽

しく関わってくださっています。

また、福祉体験学習をして「人にやさしいものを見つけよう in 都跡」を考え、自分の住む地域を大切にする態度を育てています。



高学年では、主に奈良市の「世界遺産学習」に取り組みます。特に、校区にある唐招提寺や薬師寺、平城宮跡等について調べ、その学習のまとめをパンフレットにして観光案内所に置いていただき、多くの方に発信しています。本年度は、「世界遺産学習全国サミット 2011 in なら」での子ども会議に高学年児童が奈良市代表で参加し、実践報告をもとに「子ども宣言」を作成して発表しました。

3. 成果と課題

低学年から、地域に目を向け、系統的な取組を重ねることで、子どもたちは自分たちが住む地域を「知り、関心を持ち、守り継承する」という意識を高めています。そして、「誇れる都跡」と再認識しているように思います。

また、これまでから地域の方々が学校に対して惜しみない協力をしてくださっていますが、本年度の取組からも、地域の方々とのつながりが子ども達の育ちによりよく働いていることを実感しています。

今後も、心豊かなコミュニケーション体験を大切にし、学校と地域がお互いに活性化する関係を保持していきたいと思っています。

事業名

地域と共に育ち合おう 笑顔がいっぱい幼稚園

目標

地域の人・ものなどを生かし、取り入れ、地域と連携しながら幼稚園教育の活性化及び充実を図る。

1. 取組の視点

- ・ 地域の連携を大切にしながら幼児が豊かな体験が出来るような保育内容を創造する。
- ・ 地域の人々の持っている教育力を取り入れると共に地域の文化財に親しみ、自分たちの町の良さを知る。



(夢づくりあそびやさん)



(ポン菓子づくり)

2. 取組の概要

○ 地域の方の協力を得て

いろいろな特技を持っておられる地域の方を幼稚園に招いて、園内の環境整備や、椅子作り、ゴーヤのカーテンの支柱立て、お茶会、餅つき、絵本の読み聞かせ、お母さんの集いなど



(ゴーヤの支柱)



(椅子作り)

を行いました。地域の方が長い竹を持って来て、ゴーヤの支柱を立ててくださり、立派なゴーヤのカーテンが出来、涼しい木陰で休息をとる親子の姿がみられると共に、省エネ対策にもなりました。お母さんのつどいは有志の方が参加し、花器作りや生け花、お手玉作りを楽しみ、保護者同士の交流にもなりました。

○ 様々な体験を通して

ポン菓子・音楽鑑賞(マロンフレンズ)・歯磨き指導・運動遊び(夢づくりあそびやさん)・土曜参観には3B体操を、またお楽しみ会には都跡中学校元PTAの有志による人形劇「ひな」を鑑賞するなど、幼児は多くの感動体験をすることが出来ました。

○ 地域に出かけよう

平城宮跡へは数回でかけました。近隣園と合流して大極殿を見て回ったり、広い野原で遊んだりして交流を深めました。また、唐招提寺への園外保育では、地域ボランティアの方の紹介で唐招提寺の方から説明を聞きました。参加された有志の保護者の方も、「説明を聞いて唐招提寺のことが分かりよかった。」と地域の良さを再発見する機会にもなりました。



(唐招提寺)



(平城宮跡)

3. 成果と課題

○ 地域の人々に協力いただき、環境の整備・交流・触れあいなど多くの感動体験が出来ました。また、交流を通して地域の人々の温かさに触れる機会にもなりました。

○ 今後も地域の多くの人に園に来ていただき、交流を深められるような保育内容の工夫や、園外保育を通して地域の良さを発掘する取組となりました。

事業名 **ひとつつながる・地域とつながる・歴史とつながる**

目標 **みどりと人の輪の中ですくすく育つ心と体**

1. 取組の視点

本園は、平城宮跡の豊かな自然と子どもの健やかな成長を願う温かな地域の方々の中にあります。そのなかで、子どもたちが心を動く体験を重ね、いろいろな遊びの中で主体的に活動し、心も体もすくすく育つことをめざし、園児と保護者や地域の方々との協働の場やふれあいの場を数多くもちたいと考え取り組んでいます。そのことは、地域で守られ育てられているという思いをもつことにつながります。こうしたかかわりのなかで子どもたちは人とかかわる心地よさや温かさを感じ、優しい気持ちが育まれることを願っています。そして、佐紀の地を愛し、ひいては、奈良を愛する子どもを育てることにつながればと思います。

2. 取組の概要

〔環境整備活動〕

自然いっぱいの園庭や運動会を行う「わんぱく広場」（平城宮跡）の草刈や整地作業、植木の剪定など、定期的に園の求めに応じて協力していただきました。年間を通じて園内外がきれいで安全になり、子どもたちが活発に活動できる環境が整備されました。また、野菜の栽培の指導や補助もしていただき、地域の方々に親しみ深くなり、感謝や尊敬の気持ちにつながっています。



〔園児とふれあう交流活動〕

地域ボランティアはじめ、様々な方々が、子どもたちと一緒に遊んだり、活動したり、指導したりしていただきました。茶の湯、生け花、陶芸、染色体験、ピアノ、バイオリンコンサート、絵本の



読み聞かせ、人形劇鑑賞、凧づくり、凧あげなど子どもたちは、多様な経験、感動体験を重

ねることができました。

1月の「ふれあい会」では地域の方々や昔遊びをしたり保護者、未就園児も一緒にお餅つきをした



り、豚汁とお餅を食べ、楽しいひとときを過ごすことができました。様々な形で来てくださるボランティアの方々は、「楽しかった、またくるよ。」「子どもたちから元気もらった。」と喜んでくださっています。また、子どもたちも「ありがとう。」「また、教えてね。」と積極的にコミュニケーションをとる姿ともなっています。

3. 成果と課題

・地域の支援ボランティアはじめ、民生委員、万青年クラブの方々等地域の方々との交流を重ねることができました。継続的に指導計画に組み入れていた活動に加え、本年は、地域の方に声をかけてもらい独居老人との交流会や染色体験など、より関わりが広がってきました。こうした感動体験で、子どもたちは人とかかわる心地よさや温かさを感じるとともに、自分たちからコミュニケーションをとるなど自己表現をする場となり、生き生きと活動する姿となっています。今後も、広報活動を積極的におこない、幼稚園のことを地域の方々によりよく知っていただけるよう工夫していきたいと思っています。